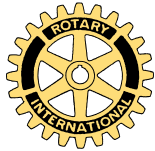


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2575回例会プログラム

[当年度=17回目；当月=1週目]

2007年（平成19年）12月3日(月)

〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(12/10) ……クラブ総会
次年度理事・役員選出
(12/20) ……クリスマス家族会
(親睦活動委員会)
18:00～ホテルグランコート名古屋
※12月17日(月)の例会変更分です。
- 13:00 15. 本日のプログラム
新入会員アワー
杉山 拓央 会員
小林 裕幸 会員
16. 謝辞
17. 点鐘……〈会長〉
18. 閉会宣言
- 13:30 19. 散会

ゲ ス ト

新入会員予定者 深谷 嘉英 様
" 水野 宏幸 様
" 白濱 重人 様

ビ ジ タ ー

隅田 正之 様 (知立 RC)
金子 純 様 (知立 RC)

出 席

会員総数 90名 出席免除 19名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 9名 出席率 89.53%
前々回 (11/19) の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 11月23日、葵カントリークラブでガバナー補佐杯が知立クラブの主管で開催されました。24名の会員に出席していただきありがとうございました。団体戦では知立 RC が優勝し刈谷 RC は僅差で2位でした。
また、同時に開催された刈谷クラブの例会では規定により、鈴木豊会員がグロス88、ネット76で優勝されました。

幹 事 報 告

- 1) 本日、例会終了後、入会オリエンテーションを行ないます。入会予定者、推薦者、関係委員会の方は事務局へご集合下さい。
2) 本日、例会終了後、第2回次期理事役員候補者指名委員会を開催します。委員の方は特別会議室へご集合下さい。

委員会報告

●国際奉仕委員会

地区から要請のラオスの学校用の文具、衣類寄付の協力を是非よろしく願います。

会長あいさつ

橋本 恭典



先月合板誕生100年というイベントが東京であり、出席してまいりました。1907年名古屋の浅野木工所の浅野吉次郎という方が独自に開発したベニヤレースという機械で大根を桂むきするようにして作ったのが最初です。1mmくらいの厚さに剥いたベニヤを交差するように貼り合わせ合板にしますが、そのころは茶箱や楽器用などの比較的小さなものを製造していました。

合板のことは長らくベニヤ板とよばれていました。接着剤が大豆グルーや膠（にかわ）などでしたので剥がれてしまう板というイメージが強く、しばらくは低級品の代名詞のような扱いでした。1950年代に入り尿素系の接着剤が開発され、消費財から耐久消費財となりその後建築用材と用途を広げ、最近ではホルムアルデヒドを出さない合板も登場しており用途は拡大しております。勿論耐水性はヨットなどにも使われ実証済みです。

1960年前後には、ドルを稼ぐ花形産業となり、輸出貢献企業ということで、昭和天皇の行幸の栄誉に浴した合板工場を6社ほど存じております。残念ながら現存しているのは2社だけですが、余談ですが父から、この頃のアメリカ視察のため持ち出せるお金は、普通300ドルだったと思いますが、同行する交換枠の多かった輸出合板工場の方をお願いして、その枠を使ってドルを持ちだし普通の旅行ができたと聞いております。

1980年時点では合板自給率99%だったものが、現在は労務費が安く原材料が豊富な東南アジア諸国の勢力におされ、輸出どころか国内需要の60%は輸入している状況です。最も東南アジアでの製造機械は我々日本メーカーの提供したものです。最近では東南アジア諸国も熱帯雨林の天然木は保護しておりますので、それらの国も人工林からの出材が多くなってきました。また、ここ4-5年は国産杉の間伐材利用が促進され5%程自給率が回復しました。

さて記念式典では若林農林水産大臣を始め10名以上の国会議員、林野庁長官を始めお役人、大学の先生方、ずいぶんたくさんの方が出席されました。さすがに東京で行くと人が集まると感じました。大臣からは「合板は住宅を構成する重要な資材。その合板に近年は国産杉の間伐材が使われ、美しい森作りに寄与している。今後一層の間伐材利用拡大を期待」と励まされました。

合板産業がお客様なので木材業界の少々宣伝じみた、静岡大学での実験のお話をします。ハツカネズミの飼育箱を木材、亜鉛鉄板、コンクリートの3種類の材質でそ

れぞれ10箱作り、しばらくの間オスとメスを別々の飼育箱で飼い、ある時期に交尾させました。出産数には大きな違いはなかったのですが、離乳時期である20日後の子マウスの生存率は木材88、亜鉛鉄板42、コンクリート7%と子マウスにとって断然木材のほうが生きて行きやすいことが判明しました。勿論人間にそのまま適用できるとは思いませんが、こんなデータを見ると、木造のほうが良さそうだなと感じます。

先日もテレビで7階建て木造の壁で強度を保つ家の耐震実験を放映しておりました。阪神淡路大震災と同じ震度での実験にびくともしない壁一面、窓以外は集成材をくっつけて面材とし金具でコーナーをくっつけて強度を出しているものでした。近い将来の木造3-5階建ての住宅はこんなようになると、木材もたくさん使われ、森も活性化し「美しい国日本」がよみがえると考えます。

今日は、木材をたくさん使った住宅を建てていただき、その恩恵で私どもの機械も売れば、という我田引水の話でした。

お祝い

12月の会員の誕生日…八木道之、杉山欣輝、石川博之、杉浦世志朗、酒部正博、加藤繁則会員。

配偶者の誕生日…鈴木裕子（孝平）、石川朝美（博之）、盛田俊子（豊一）、権田偉登子（銀弘）、三浦優子（恭嗣）、鈴木千春（豊）、吉原梅世（孝彦）、今野恵美（博樹）、南栄子（健）夫人。

12月度結婚記念日…小林祥浩、大竹憲治、久米博明会員。

12月度入会記念日…池田憲司、内藤耕造、井元良彦、近藤俊行、竹内一郎、三浦恭嗣、久米博明、小川耕示、角谷広高、中村道彦、霜出俱弘会員。

還暦のお祝い



杉浦 世志朗 会員

新人会員アワー

ジェイテクト 常勤監査役
杉山 拓央 会員



私の生まれは岐阜県岐阜市上芥見です。当時は稲葉郡芥見村でした。山と川に囲まれ自然一杯の所でした。芥見小学校、藍川中学校と村の中で、高校で岐阜市、大学で名古屋市

と段々都会に出てきたのですが、就職は刈谷市と、また田舎へ逆戻りしました。現在は安城市に住んでおり、田舎が性に合っているようです。

長良川は鵜飼、斎藤道三・織田信長で有名な稲葉城、年2回大々的に開催されます花火大会など、風光明媚な観光地であり、行かれた方も多いと思います。また昔の柳ヶ瀬をご存知の方も多いかと思います。高校の時、伊勢湾台風などで、家の裏にあります長良川の堤防が3年間に3回決壊し、床上浸水を3回経験しました。川の恐ろしさ、水の勢いというものを身をもって体験し、同時に助け合いの大切さも実感しました。

大学卒業後、豊田工機に入社しました。入社した時は工作機械が多忙な時期で、1年間現場実習をしました。この経験が今も生きております。その後、資材、調達、資金、主計、原価計算、原価管理、海外事業、関連事業と5年間位ずつ経験しました。その後、経理部長、常勤監査役、取締役、また常勤監査役と、めまぐるしくさまざまな経験をしております。

(株)ジェイテクトの工作機械・メカトロ事業は、刈谷工場を中心にグローバルに展開し、昨年度の売上はジェイテクトの単独売上高の約13%、810億円です。

世界のお客様にご愛顧頂いております。

現在、日本工作機械工業会（以下日工会）で経営委員会の副委員長、税制部会の部会長を兼任しております。日工会は、金属工作機械製造業者の団体でありまして、会員数が約90社余り、会員各社の工作機械生産額は、国内生産額の約90%を占めています。常設の7委員会を擁し、その中の経営委員会・税制部会の活動を中心に活動しております。

昨年、念願の税制改正要望が、大正9年以来の抜本の見直しとして実現しました。日本の製造業を問わず、皆さんのお役に立てたと思っております。諸外国に比較して非常に遅れておりました「減価償却制度」、特に残存価額10%の廃止が実現しました。日本の減価償却制度もやっと諸外国に引けを取らないものに一歩近づきました。これは約90年振りの大改正です。

日本の工作機械産業は、生産額で1982年以来世界一の座を堅持しています。また日本の製造業のグローバル展開などもあり、昨年度は受注額に占める海外からの受注が国内受注を上回りました。今年度は更にこの傾向が顕著です。このように日本のみならず世界のものづくりに貢献しています。

このような状況の中で、工作機械メーカーのグローバル展開も最近盛んになっています。昨年、史上最高を記録した受注額1兆4,370億円を、今年度は1兆5,000億円台と更新する見通しです。

ロータリーの奉仕の精神で、ものづくりと工作機械の発展に寄与できるよう、日工会の活動もしていきたいと思っております。

今後ともよろしくご指導をお願い致します。

日本生命 刈谷支社長
小林 裕幸 会員



昭和40年に岡山県に生まれまして、昭和63年に日本生命に入社いたしました。生保会社の中にはいろいろな仕事がありますが、私はあまり一般的でない職務も経験してまいりましたので、その辺りのお話をさせていただきます。

入社して最初の配属は大阪の堺支社で、2年間過ごしました。人事部に転勤となり、新入職員の研修や採用を行った後、現在の経済産業省、当時の通商産業省に派遣となりました。そこでは、政府刊行物の1つである「通商白書」の執筆を主な仕事としておりました。担当は日本の輸出構造とヨーロッパ経済であり、生命保険の販売をしている今から思えば随分アカデミックな仕事をしておりました。

2年の派遣期間明けの後、調査部という部署に配属となりました。調査部は経営問題に関する渉外担当部署であり、私は主務官庁である大蔵省の担当者の一人名となりました。大蔵省はMinistry of Financeの頭文字をとって「MOF」と呼ばれており、いわゆるMOF担という職務を4年半にわたってやっておりました。記憶にある方もいらっしゃるかと思いますが、金融不祥事という嵐の中で、一時、大変厳しい状況に置かれました。

その後、業務部という部署で全国の保険販売の執行行政を担当し、横浜支社で営業部長、いわゆるニッセイのおばちゃん達が在籍する職場の長を2年間やりました。なにしろ私以外は女性だけの職場でありますので、私が決してもてるわけではないのですが、公平が一番大切です。若い職員と話したら、年配の職員にはその2倍は話す必要があります。

それからまた人事部に戻り、内務職員の給与制度改革を行い、主に労働組合との交渉窓口をやりました。年功序列的な要素をできるだけ排して職務・責任の大きさ・内容に応じて給与を支払うという職務給、成果給の考え方を採り入れるというもので、妥結するのに随分と苦労しました。

それから、広告宣伝を担当する広宣課長となったのですが、当時のニッセイのCMは織田裕二が出ておりました。また、ちょうど日韓ワールドカップの開催時であり、ニッセイは協賛しておりましたので、その対応に大変な思いをしました。一番大変だったのは、チケットの一括販売・管理をするFIFA代理店がイギリスにあるのですが、そこからなかなかチケットが届かなかったことです。FIFAの日本事務局も電通も我々も正に真っ青状態でした。我々は、ニッセイに配布されるチケットが届いても、そこからお客様毎に仕分けをしなければならず、残された時間はごく僅かでした。

やっとのことでイギリスを出発したチケットが芝浦のとある倉庫で協賛各社に配布されました。我々はセキュリティーの関係から社内にチケットを置いておくわけに

もいかず、会社近くの某有名ホテルのスイートを借りて、その部屋で電通の職員と一緒に仕分け作業をしました。当然、1～2日では終わらず、部下は数千万円のチケットと夜を過ごすことになりました。

それから、浦和支社で再度営業部長をやり、2年後に営業企画部に戻ってきました。その中でも生命保険協会の業務企画部会長という職務に就き、金融庁監督局長の私的諮問機関である「保険商品の販売・勧誘に関する検討チーム」に業界代表として参加しました。大学の教授や消費者団体の方、弁護士等からいろいろとご指導、ご批判も受ける中で様々な提言をまとめ、その中の施策は現在の保険実務や行政の監督指針に反映されています。

その後、この春より現職に就いておりますが、弊社の支社長の中でも最年少でございます。ロータリーでも最年少であり、今後ともよろしくご指導いただきますようお願いいたします。

11月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成19年11月23日(金)

於：葵カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	鈴木 豊	88	12	76
2位	池田 憲司	95	25	70
3位	加藤 恒治	85	7	78
B B	前田 孝司	107	11	96

